

13

自分たちに何ができるか考えよう

実施校：碧水小学校（阿蘇市）6年生

■実施概要

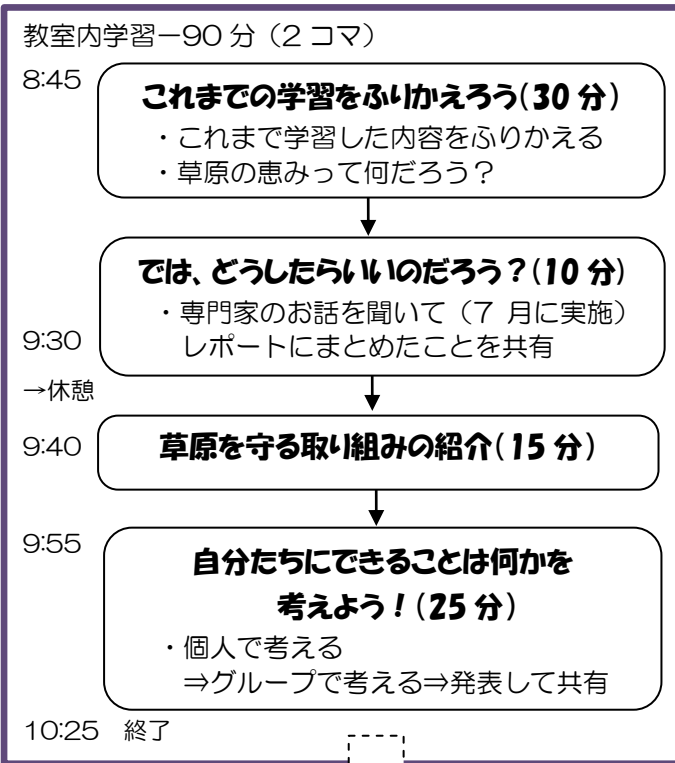
碧水小学校では、5・6年生が草原の学習を行っています。これまで阿蘇の草原について、その成り立ちや価値について学んできた6年生が、草原の危機的状況を知り、草原を守っていくために、どうしたらいいか考えました。そして、実際の行動につなげていくことを考えながら、自分たちに何ができるかアイデアを出し合いました。

■学習のねらい

- ・これまでの学習をふりかえり、草原の恵みや危機について思い出す。
- ・阿蘇の草原を守るためにどんな取り組みが行われているのかを知る。
- ・草原保全に向けて自分たちには何ができるのか、与えられた制約の中でアイデアを出す。

＜実施日＞ 平成 24 年 9 月 14 日（金）
 ＜実施時間＞ 8:45～10:25（2 コマ）
 ＜参加者＞ 6 年生（40 名）、担任教諭
 ＜実施場所＞ 碧水小学校の教室
 ＜講師＞ 環境省阿蘇自然環境事務所
 木部直美
 ＜準備するもの＞
 （子どもたち）筆記用具
 （学校）コンピューター、スクリーン、プロジェクター、ワークシート
 （環境省）パワーポイントデータ
 ＜コーディネーター＞
 環境省 阿蘇自然環境事務所

■学習の流れ



アイデアを整理して具体的な計画づくり
 9月18日(火) 14:05～14:50(1コマ)

草原環境学習ワークシート No. ()月()日
 6年 名前()

★今日の学習のめあて
 これまでの学習をふり返り、草原を守るために、私たちにできることはないか考えよう。

★これまでの学習をふり返ろう！
 <メモにどうぞ>

★草原を守るためにはどうしたらよいか？
 <レポートにまとめたことを共有しよう>

★草原を守るために、私たちにできることは何だろう？具体的に考えよう。
 <私の考え>

<グループの考え>

★今日の学習をふり返ろう。(わかったこと、もっと知りたいこと、疑問、聞いたこと…)

学習に用いたワークシート

■実施の様子

- ・草原の恵みや危機など、これまでの学習をふりかえりました。
- ・次に、地元の人々や都市の人々が草原を守っていきたいという思いで、様々な取り組みを行っていることを知り、自分たちには何ができるかを考えました。
- ・「自分たちに何ができるか」を考える際は、次の活動につなげていくため、あらかじめ制約条件を提示して、アイデアを出し合いました。
(※アイデアを考える際の条件：時間的制約、費用の制約、実施者の制約)



**草原保全に向けて、
こんな活動アイデアが
出されました！**

<子どもたちのワークシートより>

- ・草原の草を使ったものを作って、それを売って草原再生に募金する
- ・草原を守るための募金を呼びかけるポスターを作成する
- ・阿蘇の草原の良さを伝えるポスターを作成する
- ・草原の草を使った堆肥（野草堆肥）で育てた野菜を販売するお手伝いをする
- ・あか牛をもっと食べる呼びかけをする
- ・草原でゴミ拾いをする
- ・草原の草を使った卒業証書をつくる
- ・草原の草を使った紙（野草紙）を使って募金箱を作る
- ・給食にあか牛を出してもらおう

■成果など

- ・アイデアを出す時間は短かったが、何ができるか、まず自分で考え、その後グループを作って議論しながら考えることにより、様々なアイデアが出された。

留意点

- ・草原を守るためにできることのアイディア出しでは、子どもたちによる実施が難しい活動も出てくるので、あらかじめ条件を設定しておく、またはいったん自由にアイデアを出して、みんなで一緒に制約条件を考えた上で、実施できそうなものを精査していくと、具体的な活動につなげることができます。